

会 議 録

1 会議名

平成29年度第2回大島区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

- ・地域活動支援事業の審議及び採択・不採択の決定（公開）

3 開催日時

平成29年5月22日（月）午後2時00分から午後3時34分まで

4 開催場所

大島コミュニティプラザ2階 市民活動室1

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委員：飯田國男、石塚総子、内山愛治、高橋和夫、高橋光成、武江一義、中村朝彦、早川丈夫、丸田新一、本山啓市、吉原忠正

- ・事務局：大島区総合事務所 古田所長、西山次長、武田市民生活・福祉グループ長 小酒井班長、横尾主任

（以下グループ長はG長と表記）

8 発言の内容

【西山次長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・本日の会議録の確認は、委員番号11番の本山啓市委員にお願いする。

1 挨拶

【中村会長】

挨拶

【中村会長】

- ・これより、地域活動支援事業の審査に入る。審査方法は、例年どおりグループ協議を行う中で採点していただき、集計後、採点結果に基づき決定する。

(中村会長がグループ分けを発表)

- ・なお、昨年はグループのまとめ役を私が指名したが、今回は各グループ協議の中で決めていただく。
- ・また、グループ協議は1時間を目途とし、グループ協議が終わり採点を記入したグループは採点票を事務局に渡すこととする。
- ・事務局から、何かあるか。

【古田所長】

- ・私共職員はここにいるので、審議の中で不明な点等があれば、話をしていただきたい。

【中村会長】

- ・今回の提案事業の中で、大島地区振興協議会からの提案事業は早川委員が関係しているため、審査から外れていただくが、それ以外については、関係者はいないと思われる。それでよろしいか。

(異議なし)

- ・それではグループ協議に入る。

(地域活動支援事業の採点の集計が終わり、結果の配布)

【中村会長】

- ・それでは、地域協議会を再開する。採点結果の一覧が配布されたので、これを基に審査を続ける。
- ・3つのグループで協議をしていただいたので、第1グループから報告をお願いします。

【内山委員】

- ・事業番号1の旧旭小学校跡地整備事業(以下事業番号1と表記)は満額でよいのではないかと皆さん判断された。植栽及び保護、育成を行うことで、心のより所が復活されるということで大いに期待している。
- ・事業番号2の「ほたるのこおどり」未来への継承事業(以下事業番号2と表記)は、太鼓の修理が主である。指導者の謝金も多額であるが、これもやむを得ないのではないかとの意見があった。健やかに過ごせる地域社会であることをPRすることに期待する。

- ・事業番号3のあぜ道アート・夢あかり in ほたるの里（以下事業番号3と表記）は、田の畦畔、延べ860メートルに1500本のキャンドルを設置し、音楽ライブを開催するというので、これもよいのではないかと判断した。
- ・事業番号4の雪原棚田アートとLED雪蛍事業（以下事業番号4と表記）は、3年目の継続事業であるが、藤尾集落の6戸で頑張っているということで、これもよいのではないかと判断した。
- ・事業番号5の菖蒲地区高齢者たまり場開設事業（以下事業番号5と表記）は、飯田邸のことであり、毎年お金がかかっているようだが、たまり場がないことから、それを飯田邸で復活したいという提案であり、これから高齢者が増えていく中で、これもよいのではないかと判断した。
- ・事業番号6の私たちの未来の働き方・役立つ金融教育（以下事業番号6と表記）は、将来の子供たちのためには、これもよいことではないかと判断した。
- ・事業番号7の菖蒲「秋まつり」活性化事業（以下事業番号7と表記）は、太鼓の購入のみであるが、太鼓は菖蒲地区にひとつしかないのも、何とかしたいということであり、これもよいのではないかと判断したところである。

【中村会長】

- ・第2グループの報告をお願いします。

【石塚委員】

- ・事業番号1は、実施後の草刈り等の管理面と花の開花時期以外の運用について、現実的に大丈夫なのだろうか、難しくないのだろうか心配する意見があった。
- ・事業番号5は、高齢化社会ということでたまり場の意味、意義はとても大きいものがあると判断した。
- ・ネットスーパーなどを活用した買い物支援については、多様な意見があった。アイデアとしては今の時代に合っていて素晴らしいと思うが、今、がんばっている「やまざくら号」との兼ね合い、また、その「やまざくら号」も利用者が減少している中で、果たしてそういう人がネットスーパーで買うのか。
- ・取り組む際には、宮本地域おこし協力隊員がやってくれると思うが、宮本隊員の任期終了後に継続してやってくれる人がいるのか。これだけの金額をかけて継続できるのか。
- ・「あじさいの会」のある週は行わないということであるが、やるなら逆に「あじさい

の会」にぶつけた方が人は集まっているのではないか。など、たくさん意見があった。

- ・心配する意見は多かったものの、菖蒲地区の人たちのやる気や地区のまとまりで、やってみれば上手くいくかもしれないという前向きな意見もあった。
- ・他5つの事業に関しては、特に意見がなく、がんばっていただきたい、という意見であった。

【中村会長】

- ・第3グループの報告をお願いします。

【吉原委員】

- ・事業番号1は、一昨年に桜を植栽し、まだ、それほど咲いていないが、ある程度になれば素晴らしいものになると思うし、これにプラスアルファで花の植栽をすることは地域の活性化につながると判断した。
- ・事業番号2は、子供を中心にした考え方で今までも進めてきたが、地域に子供が少なくなってきた現在の現在、これを中年や老人にも広げていけないかとの意見があった。
- ・事業番号3は、新しい発想であり、今まで冬のイベントであったものを、夏のあぜ道にあかりを灯すということは一興である。また、今までのほたるコンサートに変わり、ライブ形式で上越教育大学吹奏楽団から来ていただいて非常に盛り上がるのではないかとの意見があった。
- ・事業番号4は、昨年、一昨年と皆さんから順調に来ていただいている事業であり、評価が良かった。
- ・事業番号5は、飯田邸活性化の一つのアイデアであり、皆さんが集まる場所、たまり場的な存在にすることは非常によいのではないか。集う場所が定着するようになれば、地域の活性化にも繋がるのではないかとの意見があった。
- ・事業番号6は、異論があった。小学生に金融教育が分かるのか、高校生などもっと高学年を対象とするものではないかとの意見があった。
- ・一昨年から遠方へ行っているが、もっと身近にあるものに目を向けることが足りないのではないか、たとえば山古志に行き、防災や復興を勉強するものも必要ではないかとの意見があった。
- ・事業番号7は、太鼓を購入し「まつり」を継続して開催することは、一つの活性化

のものとしては、この資金の使い道としては適正であるとの意見があった。

【中村会長】

- ・各グループからの報告が終わったが、皆さん質問や発言はあるか。

(質問、発言なし)

- ・採点結果一覧表を見ていただきたい。

- ・大島区の採択方針との整合性について、出席者全員が○を付け、×を付けた方はいない。

- ・点数も一番低いものは18点、一番高いものは23点と、とりたてて低いものは無い。

- ・特にご意見がなければ、今回提案の7つの事業を全て採択することとしてよいか。

(異議なし、賛成の声)

- ・申請額が配当額を1千円上回っているが、事業番号2については、持ち出しがないため、申請額72万1千円から1千円削って、72万円にすることによって、総額を490万円にしたいが、皆さんよろしいか。

(異議なし、賛成の声)

- ・では、そのように決定する。

【西山次長】

- ・採択通知をする上で、特に付帯意見は付さないでよいか。

【中村会長】

- ・今回の提案事業の中で、特別に意見を付けなければならないものは無いと思うが、皆さんいかがか。

- ・特に付帯意見を付けなくてよろしいか。

(異議なし)

- ・それでは、付帯意見は付さないこととする。ほかに意見や質問はあるか。

(意見なし)

【中村会長】

- ・では、本日の主要な審議事項の地域活動支援事業の審査をこれで終了する。

- ・事務局から、その他に何かあるか。

【西山次長】

- ・次回会議の開催日を決めていただきたい。

【古田所長】

- ・現在、地区別懇談会について、地区の会長と日程調整をしている。
- ・それが決まり次第、できれば会長、副会長の一任としていただき、月末くらいに決めていただきたい。

【中村会長】

- ・6月29日、30日で調整したいと思う。地区別懇談会の日程が最終的に決まった段階で、相談させていただきたい。
- ・それでよろしいか。

(異議なし)

- ・では、以上をもって第2回大島区地域協議会を閉会とする。

9 問合せ先

大島区総合事務所総務・地域振興グループ TEL : 025-594-3101 (内線 61)

E-mail : oshima-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。